

茅ヶ崎同盟教会 教会学校だより

私は見た！ 2005年度夏期学校レポート

報告：弓桁あずさ



7月23日(土)8:00,茅ヶ崎駅に続々と参加メンバーが集まってくる。青い鉢巻を思い思いのところに結んで。この青鉢巻が大活躍するのは少し時間がたってからのお話。付き添い教師真っ青,反省しきりの出来事で青鉢巻は大活躍をしたのだった。

晴天だがすずしい奥多摩で,1:00に開校礼拝始まる。今回の夏期学校のテーマは「ほんとうのよろこび」である。開校礼拝では『イエス様と出会う喜び』ということで稲津姉よりスカルの女の話聞く。イエス様の方から声をかけてくださり,その声を聞いて喜んで応答するものとなろうという内容だが,私は見た！稲津姉の旦那と婿さんがすやすやとお休みになられているのを。その後の分級で川島姉の米国みやげのビーズづくりをして楽しみ,自由時間。私はお昼寝タイムとした。が突然グラグラっとベッドが揺れた。地震である。かなり大きい。茅ヶ崎は震度5弱で深夜までダイヤが乱れて大変だったと連絡を受ける。

ここ奥多摩福音の家の食事はいつもとてもおいしい。だけど子供達ははっきり言って好き嫌い多すぎ！なんでも食べるよ！残り物はすべて男性群が座るテーブルへ廻されるが,限度ってもんがあるだろうって。

飯田姉のショート(?)メッセージの後、ゲームタイム。巨大オセロゲームは大人対子供で戦い、本気で戦う大人チームの勝ち。「だって大人だもんねー。」の子供の声に「いや、大人気ない、子供だろ！」。

『神の武具』パチンコゲームやかなり難しい聖書連想背中ゲーム(詳しいゲームの説明は省く)をやってさんざん頭や体をつかって 1 日目のプログラムは終わる。



夜はトランプ組みと枕投げ組みにわかれて盛り上がる。私は見た！永田翔くんはダウトが非常に弱いのを。トランプを出す前にダウトだとわかってしまうのだ。

翌日の朝、「カーカー体操」なるものを他の教会学校がやっていてそれがあまりにおもしろいので、便乗させてもらった。しかし森本校長は関兄を 4 時に起こし、2 人で、昼のバーベキューのための場所取りをしに出かけていた。テントをはって、看板をつけて、とっておきのマル秘スポットはこうして確保されるのである。

朝食後、少々塩辛いものが欲しくなった私は見た！ではなくて買いに行った！焼きそばのための紅しょうがとご飯にのせるしそ昆布を。この 2 点、これまた大活躍をするのだが、これも後のお話。

聖日礼拝は『イエス様に救われた喜び』ということでザアカイの話私を私にした。「あーちゃんのはなし？長いしつかれるんだよねー」とは加藤絵美ちゃんのコメント。「短く、短くね。」とは森本校長の要望。長くて眠くなるんだけど、バシバシさされるし、学校の授業中みたいなさ。

螺旋階段のついた 3 階 VIP 室をめぐるって子供たちは多少もめていたようだが、このザアカイのはなしと礼拝後の個人面談を通じて、子供たちは一人ひとりが考え、祈って、自分たちでもめ事を解決したのである。私は 6 年生の女子 2 名を担当したが、進路を含めた話ができ、とても有意義な時間を過ごした。

思い出の T シャツ作りでは、今年は実際に着れる T シャツを作ろう！ということで、大木姉が用意してくれたキットで皆とてもステキな T シャツが作れた。本当にみんな上手だった。着れるよ、着れる、外出もできるよ！木島亜沙子さん、flower のスペル間違ってるんだよね、r じゃなくて l だろうが、君の英語の先生だれだよ、私かい！

T シャツができた人から、バーベキュー会場へ向かい、冷たくて足が痛いほどの川の中を歩いて、マル秘スポットへ到着した。カラスアゲハが飛ぶのを目撃しながら、川島悟君、永田翔君と一緒に見事な焼きそばを作り上げた。紅生姜がここで大活躍。うまかったぞ、これは。とうもろこしとフランクフルトの焼いたのも絶

品だった。ふと見ると、川遊びをしている間に子供の人数が増えている、よく見たら稲津姉と加藤ちぐさだった！同化してるよ、完全に！和奏ちゃん、パパと一緒に川遊び、いいな。関ファミリーは見てるだけで癒されるとは、木島亜沙子談。

福音の家へ帰ってきてからは部屋別出し物の準備。女性教師人は霊性のかけらも無い、ただウケ狙いの劇の準備に大忙し。このときの楽しい時間といったら！

スイカを食べて、記念写真を撮って、またまたお昼寝タイム。これで3回目ぐらいの青梅マラソンの加藤ちぐさ、朝、前々日に受けたバリウム検査の残り物をスッキリ出して、快調(快腸)に飛ばしていた。

夕飯時、しそ昆布が大活躍をし、鳥肉を校長命令で食べつくしていた悟君、横で木島亜沙子さんもがんばり、後ろで永田翔君が応援団というか背後霊のようにくっついていたので、私は見た！だいたいそんなに食べたあとで、胃の薬のむなよ、亜沙子さん！

キャンプファイヤー時、一人ひとりがキャンプの感想を述べた。なんだか一体感が生まれるんだよね、これは。その後の花火大会、ひとだまって、教会のキャンプでやるかい？煙玉だの、通称ウンコ花火だの、打ち上げ花火もあって、本当に盛り上がった。ここで関ファミリーと亜沙子さんはさようなら。いなくなったら、マジさびしくなった。

でも部屋別出し物・ビンゴ大会でまた盛り上がりを見せた。クイズあり、われら女性教師人の『かぐわしのシンデレラ』の劇あり。でも個人的にとてもうれしかったのは森本校長が用意してくれた「まちがいさがし」2連発で久々の優勝を飾ったこと！チョー気持ちよかった！この「まちがいさがし」、毎月第4日曜日、教会学校の分級でやっている。われこそはと思う人はぜひ参加してください！

3日目。台風の接近に伴い今までの涼しさがうそのように蒸し暑い。閉校礼拝は『教会に加えられる喜び』ということでペンテコステのお話を森本校長がした。スカルの女もザアカイも直接イエス様にお会いしたわけだが、ペンテコステの話は聖霊が下り喜びが心にあふれるというお話。本当の喜びは第一に神様



と、第二に人と交わりがあるところに存在する。教会は両方が同時に存在するから、キャンプに参加したお友達は友達を誘って毎週日曜日教会にいこう！というもオキマリの、両津勘吉（少年漫画誌ジャンプ掲載、「こちら亀有公園前派出所」の主人公）がVサインで語るOHP画像で終わった。

感想文を書いたが、ホームページに掲載されると聞き、書き直す大人続出する。いったい何をかいていたんだよ！昼食までフルーツバスケット（なんでもバスケット）をやって楽しんだ。稲津五十吉、ルールもわからぬままやって尻文字を書く罰ゲームまでやらされて、一家の病気(?)である自閉症ならぬ自開症へと症状が悪化しつつあるのを、私は見た！



雨が落ちる前にと古里駅で一本早い電車に乗ったが結局は拝島で時間待ち、予定通りの時刻に茅ヶ崎駅に到着。メチャクチャだったけど、ホント楽しかったね。神様がずっと守ってくださったことを実感したね。「ほんとうのよろこび」を見つけたキャンプだったんじゃないかな。

編集後記 (Aug.18th.2005,Updated)



2005年7月23～25日、奥多摩福音の家で行われた夏期学校の詳細を弓桁あずさ姉がレポートしてくれました。3日間お天気にも恵まれて、聖書の学びや野外活動、おたのしみタイムなど、楽しい3日間でした。掲載写真はホームページ担当の稲津五十吉兄が撮影してくださいました。(森本 記)